

令和3年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	17	6.3	9.6	7	< 1	4.2
鴨川	新大宮バイパス線下	10	4.4	7.2	13	4	8
	加茂川橋	15	6	8.9	16	6	11
	学校橋	15	5.4	9.5	23	4	10
	中土手橋	15	5.1	8.2	58	6	22
	さくら草橋	15	4.0	8.2	32	2	12
鴻沼川	櫛引橋	13	3.6	6.4	45	2	10
	霧敷橋	15	8.5	11.8	9	< 1	2
	新開橋	15	5	8.8	18	2	11
笹目川	市立浦和南高校脇	11	2.2	6.6	14	4	8
藤右衛門川	柳橋	10	5.1	7.0	32	1	11
芝川	船橋	7.7	6.6	7.2	8	1	4
	境橋	9.2	6.3	7.6	32	3	10
	大道橋	10	4.4	6.3	47	4	16
	八丁橋	8.9	5.1	6.5	36	6	21
深作川	宮ヶ谷塔橋	14	5.5	8.7	61	4	24
綾瀬川	高野橋	13	5.5	8.1	19	4	11
	戸井橋	14	6.0	8.8	37	4	19
	暁橋	14	6.0	8.5	44	3	17
元荒川	城北大橋	11	4.7	7.7	49	4	14
	新曲輪橋	9.7	5.2	6.8	22	7	14
	永代橋	13	5.7	8.7	39	4	14
古隅田川	城殿宮橋	13	4.1	6.6	35	8	20

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。